

バーバーショップ・ツールボックス

ワークショップ

2017年3月





男性を形づくるもの ーワークショップ

目標

それぞれのワークショップは、参加者たちがテーマについての理解を深め、ジェンダー平等についての自身の考えを探ることで、ジェンダー平等に向けた変革の主体かつ推進者となるよう刺激を与えるものです。以降で説明するワークショップは専門家がリードする議論とグループワークから構成されています。各ワークショップはテーマごとに分かれており、参加者たちは一度に1つのテーマについて深く掘り下げることができます。

各ワークショップはそれぞれ独立しており、単独のセッションとして利用することができます。ただし、ジェンダー平等についてのディスカッションに参加するのが初めての参加者の場合は、ジェンダーの定義に関するワークショップ1から始め、次のワークショップに進むことを強く推奨します。

主催者のためのガイドライン

各ワークショップは、男性を形づくるものや、男性がジェンダー平等の実現を支援する方法についての率直なディスカッションを行うものです。それぞれのツールは、男性のみのグループでも女性と男性が混ざったグループでも利用できます。ただし、混合グループの場合でも、必ず男性同士で話し合う機会を設け、ジェンダー平等の実現を後押しするために男性にできることについて実りある議論ができるようにしてください。そのためにはタイミングを見計らって参加者を性別でグループ分けし、男性の専門家に進行役として

参加してもらうか、発表者として自らの経験を語ってもらうとよいでしょう。

ディスカッションの進行ができるジェンダーの専門家に協力を依頼することを検討してみましょう。参加者をグループ分けする際は、必ずテーブルごとに1人のディスカッション・リーダーを事前に選んでおくようにします。地域の専門家でもよいですし、テーマに詳しい参加者でもよいでしょう。事前に顔を合わせ、ワークショップのガイドラインや、「**最初の一步**」の章にある「進行役のためのチェックリスト」と「用語集」をひと通り確認します。

暴力や性的虐待といったセンシティブなテーマについての議論は、そうした行為を受けた経験のある人々にとって、悪い記憶がよみがえったり、不安を感じたりするきっかけとなり得ることに注意してください。進行役とディスカッション・リーダーはこのことを念頭に置き、参加者を、地域の支援団体などに紹介できるようにしておきましょう。

予定時間が1時間の場合	2時間の場合	3時間の場合
ワークショップ1 ジェンダーとは何か？	ワークショップ1 ジェンダーとは何か？ ワークショップ2 男性らしく、女性らしく	ワークショップ1 ジェンダーとは何か？ ワークショップ2 男性らしく、女性らしく ワークショップ3 暴力とは何か？